

衣浦トンネル（下り線）の確認調査について

平成24年12月2日（日）に中央自動車道の笹子トンネル内で、コンクリート製の天井板が崩落する事故が発生しました。

愛知県道路公社は、この事故を受け、管理する衣浦トンネル（下り線）の一部にある軽量気泡コンクリート板（約80kg/1枚）を吊る構造の緊急点検を12月3日（月）に実施し、異常がないことを確認しました。

今回、長期的な安全性を確認するため、下記のとおり確認調査を実施しました。

内容は、下記のとおりです。

記

1 衣浦トンネル（下り線）の概要

- (1) 開通年月日 昭和48年8月1日
- (2) トンネル区間延長 1,018.6m

2 軽量気泡コンクリート板の設置概要

- (1) 設置年月 平成15年3月
- (2) 設置場所 トンネルの出入り口からそれぞれ約250m（2箇所）
- (3) 設置延長 約24m（12m/1箇所×2箇所）
- (4) 板1枚の諸元
幅60cm、長さ240cm、厚さ10cm、重さ約80kg

3 確認調査の内容及び結果

(1) 点検日時

平成24年12月6日（木）8:00から13:30

(2) 点検内容

- ア 通行規制を行い、吊り構造取り付け箇所の全数（42箇所）調査を実施しました。
- イ コンクリート診断士によるアンカーボルト、ボルト取り付け部コンクリート及び軽量気泡コンクリート板の打音調査を実施しました。
- ウ シュミットハンマーによりボルト取り付け部コンクリートの健全性を確認するための調査を実施しました。

(3) 点検結果

- ア 打音調査による異常は認められませんでした。
- イ シュミットハンマーによる調査により、取り付け部コンクリートの健全性を確認しました。

【打音調査の状況】



【シュミットハンマー調査の状況】

